

No.616

法音

令和3年 2月号

— 今月のご法話 —

掃除は仏道の基本です

目蓮宗
法音寺



勇猛精進

慈悲

今日一日、
人を喜ばせましょう
今日一日、
笑顔で人に接しましょう
今日一日、
ほめ合って暮らしましょう
今日一日、
一善を積みましょう

月刊・法音 令和3年2月号 No.616 目次

【信仰の指針】浄化 心を磨き続けましょう 1

掃除は仏道の基本です 山首 鈴木正修 2

◆ 講日のご案内 15

◆ 有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください 16

◆ 新年祝祷会のご報告 18

◆ 仏教説話・真実を見極める 21

◆ 法音寺動画のお知らせ 29

◆ 知っているようで知らなかった!? 法音寺のこと ⑭ 30

◆ お寺の本棚 34

◆ のりのね体験 36

◆ 新主管就任のご挨拶 38

◆ 支院だより 40

◆ 福祉のひろば 63

○ 幸せのお手伝い 64

○ 昭徳会・技能実習生の受け入れ開始 66

○ 日本福祉大学・社会人の要望に応えるリカレント教育 68

◆ 賛助員ご芳名 70

◆ 幸せの種まき／編集後記 72

◆ 連載まんが・ひまわり・97 あふれる感謝 73

◆ 法音寺の社会福祉・教育事業 77

◆ 法音寺物語 78

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま書 表紙写真・ささんか

掲載写真 表紙・信仰の指針・3頁・梅田雅臣氏撮影
2頁・18頁・20頁・加納将人氏撮影

信仰の指針

じょう

か

浄化
心を磨き続けましょう

日教五



黄 梅



朝のこない夜はない

山首 鈴木正修

掃除は仏道の基本です

幕末の大儒学者・佐藤一斎が『言志四録』の中で次のように言っています。

「人は真剣に考える必要がある。天はなぜ自分をこの世に生み出し、何の用をさせようとしているのか。自分ですでに天より生じたものであるから、必ず天から命じられた役目がある。その役目を謹んで果たさなければ必ず天より罰を受けるであろう。このように省察すると、うかうかと生きべきではないことがわかる」

自分の使命を自覚し、それを果たすというのはたやすいことではないと思います。

杉山先生はよく当時の信者さんに「あなたはこの世に何をしに來られた」とお尋ねになりました。染物職人で



あつた年若^{としわか}い赤塚^{あかつかしやういち}正一^{しやういち}さんがこの質問^{しつもん}をされ、「働^{はたら}きに
きました」と即答^{そくとう}すると、杉山^{すぎやま}先生^{せんせい}は「そうか、よし」
と頷^{うなず}かれたそうです。普通^{ふつう}はなかなかこのようにすぐ^{さぐ}に
答^{こた}えることはできないと思^{おも}います。

松下^{しやうか}村塾^{そんじゆく}の塾頭^{じゆくとう}・吉田^{よしだ}松陰^{しよういん}も塾生^{じゆくせい}に「君^{きみ}は何^{なん}のために
生まれてきたのか。生まれてきた役割^{やくわり}は何^{なに}か」と必ず尋^{たず}
ねたそうです。高杉^{たかすぎ}晋作^{しんさく}、桂小五郎^{かつらこごろう}（後の木戸^{のちのきど}孝允^{たかよし}）、
伊藤^{いとう}博文^{ひろふみ}、井上^{いのうえ}馨^{かおる}、山縣^{やまがた}有朋^{ありとも}といった維新^{いしん}の元勳^{げんくん}達^{たち}も塾^{じやく}
生^{せい}としてこの質問^{しつもん}を受けたことと思^{おも}います。そして松陰^{しよういん}
は続^{つづ}けて「自分^{じぶん}の役割^{やくわり}に氣^きづくためには日常^{にちじよう}のことに至^し
誠^{せい}を尽^つくしなさい」と言^いいました。日常^{にちじよう}のこととは、早^{はや}
起^おきやしつかりとした挨拶^{あいさつ}、丁寧^{ていねい}な掃除^{そうじ}、また時間^{じかん}を厳^{げん}
守^{しゅ}する、人^{ひと}に對^{たい}して誠心^{せいしん}誠意^{せいぎ}應対^{おうたい}をするというようなこ
とです。

これらのことに至誠^{しせい}を尽^つくすうちに、たつた一年^{ねん}と一
カ月^{げつ}の期間^{きかん}でしたが塾生^{じゆくせい}達^{たち}の多くが天下^{てんか}を動^{うご}かす人物^{じんぶつ}へ



と成長せいちようしていったのです。

今回は日常にちじようのなすべきことの中から掃除そうじを取り上げた
おも
いと思います。

松下幸之助まつしたこうのすけさんが晩年ばんねん、私塾しじゆくとして作られた松下政経まつしたせいけい塾じゆくは政界せいがいに多くの人材じんざいを輩出はいしゅつしています。初代塾頭・上じよう甲晃こうあきらさんが書かかれた『志を継ぐ』「JINRYU」という本ほんを読よみました。イエローハットの創業者そうちやうしやである鍵山秀三郎かぎやまひでさぶろうさんとの対談たいだんが収録しゆづくされているのですが、その中なかで松下さんが講話こうわでいつも言いわれていたのが、「掃除そうじをしなさい」だったといいうのです。そして「天下てんかの掃除そうじをする前に身の回りみまわりの掃除そうじをしなさい」と繰り返くし言いわれたそうです。この掃除そうじはできません」と繰り返くし言いわれたそうです。これがなかなか塾生じゆくせいには伝つたわりませんでした。塾生じゆくせいの中には「掃除そうじなんかやってどんな意味いがあるんですか。意義いぎと効用こうようをちゃんと説明せつめいしてもらって、理解りかいできたらやり



ます」という人もいました。七期生が松下さんの講話の時に「塾長、掃除をすることの意義についてもう一度教えてください」と質問しました。さすがの松下さんも「7年経ってこれでは、どうにもならんわ」と嘆かれました。上甲さんもこれはどうにかしないとダメなと思いました。そこに会社の後輩から「鍵山秀三郎さんに一度来てもらって講演していただいたらどうですか」とアドバイスがありました。

鍵山さんが来られてから塾生がようやく変わり始めたそうです。

対談の中で鍵山さんは厳しく指摘されました。「私がおもに、政経塾で掃除の大切さがなかなか理解されなかった理由は、おそらく塾生の方々の目標が小さかったからだと思うのです。早く国会議員になりたいとか、名声を得たいとか、その程度のことだ目的だったのではないのでしょうか。本当は、国家をどうしよう



か、社会をどうしようといった大きな目標をしつかり持つと、人間というのは自ずからどうしたらいいかということがわかってきますから、そこで掃除と言われればすぐに理解できたと思うのです。けれども、あまりにも掲げている目標が低く、小さいがために、そういう理解に至らなかったのだと思います」

「私も今だったらそんなことはしませんが、当時は掃除の意義を一生懸命理屈で説明しようとしましてね。夜を徹して説いて聞かせたこともあります。やればやるほど反発が高まり、泥沼にはまっていく。物事を理屈で議論し始めると、簡単なことがどんどんおぼろしくなるのですね。なぜ掃除一つするのにこんなに闘わなければならんのかというのが正直な気持ちでした。今だったら、『わかってやろうとするな。やればわかる』と教えられるのですが」



この話から、ずっと以前に読んだ『中心』という修養雑誌にあった話を思い出しました。松浦豊蔵という方の恩師K先生の話です。K先生が東大の学生を世話している時、毎朝4時に起こして便所掃除をさせたところ、一人の学生が「こんなことを続けさせるのなら、今日限り退学します」と訴え出たのです。するとそれを聞いていたK先生が言ったのです。

「君の言うところは一理ある。よろしい、君だけは便所掃除をしないでいいことにしよう。その代わり、君だけは今日から大便をするな」

その学生が目をパチクリしていると、K先生はさらに言いました。

「君の大小便の世話をするために生まれて来たという人間が一人でもあったら連れて来たまえ」

学生は急に晴々とした顔になって「すみません」と大きな声で言って、さっさと便所掃除にとりかかったとい



うことです。話を戻します。

鍵山さんは「掃除の菩薩」と言われ、日本だけでなく世界中に掃除運動を広められています。特にトイレ掃除です。鍵山さんはどんな国でも、トイレを一生懸命掃除されました。

ある人が「どうしてそんなに一生懸命に掃除をされるのですか」と尋ねると、鍵山さんは言われました。

「私は、本当は人の心を磨いてきれいにしたいのです。でも人の心は取り出して磨くことはできません。ですから、まず周囲をきれいにするのです。人間の心はまわりに影響されるものなのです。まわりをきれいにすれば自然と人間の心もきれいになっていくのです」

また鍵山さんは「どんなに荒れた学校でも、トイレ掃除から始めて学校をきれいにすれば必ず良い学校になる」と言われています。新宿の歌舞伎町は日本一犯罪の多い



まち
町として有名でした。石原都知事の時に副知事を務めた
たけはなゆゑ
竹花豊さんが犯罪を減らすために鍵山さんに協力を依頼
しました。そして歌舞伎町で月に一度の早朝一斉清掃が
はじ
始まりました。すると犯罪がどんどん減って行き、一年
はんざいけんすう
で犯罪件数が半減したそうです。町をきれいにすること
ひと
で、人の心に影響を及ぼしたのです。
えいさう
かぎやま

鍵山さんが「トイレ掃除の五徳」というものを語って

おられます。

1、謙虚な人になれる

「どんなに才能があっても、傲慢な人は人を幸せにする
さいのう
ことはできません。人間の第一条件は、まず謙虚である
けんきょ
こと。謙虚になるために確実に一番の近道がトイレ掃除
かくじつ
です」

2、気づく人になれる

「世の中で成果をあげる人とそうでない人の差は、無駄
よなか
があるか、ないかです。無駄をなくすためには、気づく
むだ
気づく



人になることが大切です。気づく人になることによって、無駄がなくなります。その気づきをもっとも引き出してくれるのがトイレ掃除です」

3、感動の心を育む

「感動こそ人生。できれば人を感動させるような生き方をしたいものです。そのためには自分自身が感動しやすい人間になることが第一です。人が人に感動するのは、その人が手と足と身体を使い、さらに身を低くして一生懸命取り組み組んでいる姿です。特に、人の嫌がるトイレ掃除は最良の実践です」

4、感謝の心が芽生える

「人は幸せだから感謝するものではありません。感謝するから幸せになれるのです。その点、トイレ掃除をしていると、小さなことにも感謝できる感受性豊かな人間になります」



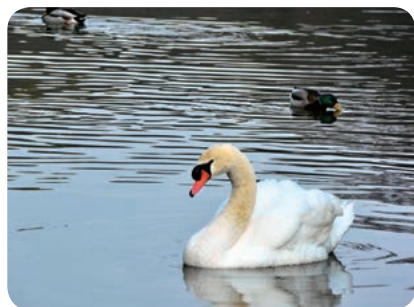
5、心を磨く

「心を取り出して磨くわけにはいかないの、目の前に見えるものを磨くのです。特に、人の嫌がるトイレをきれいにすると、心が美しくなります。人は、いつも見ているものに心も似てきます。また心が浄化されると、素直な心になれ、不思議と先のことがよく見えるようになります。自ずと不安や取り越し苦労がなくなります」

掃除は仏道修行の基本です。御開山上人は若い頃、早起きをして競って便所掃除をされたと聞いております。荒行堂では一日に何回も便所掃除をしますが、早朝は水が冷たくて進んでやろうとする人はいません。そこで御開山上人は「みんな嫌だろうから冷たい時は、私が一人でやろう」と、百日間一人で早朝の便所掃除をされたそうです。掃除が仏道修行の基本であるというのは、有名な周利槃特の話によるところが大きいと思います。



周利槃特しゅりはんどくという人ひとは物忘れがひどく、自分じぶんの名前なまえすら
 覚おぼえることができなかったといひます。お釈迦しやくかさまのお
 弟子でし達は教おしえを詩うたの形式けいしきにして暗記あんきしていましたが、周
 利槃特りはんどくはどうしても覚おぼえられませんでした。ある時とき、秀
 才さいの誉ほれ高い兄あにの摩訶槃特まかはんどくに「お前まえには悟さとりを開ひらくのは
 無理むりだから教団きやうだんを出でていきなさい」と言いわれました。
 一旦いったんは兄あにの言葉ことばで還俗げんぞく（※）を決意けついした周利槃特しゅりはんどくでした
 が、教団きやうだんを去さり難がたく、一人ひとり祇園精舎ぎおんしやうじやの門前もんぜんでしょんぼり
 としてゐると、そこにお釈迦しやくかさまが来こられ、周利槃特しゅりはんどくの
 心こころを見抜みぬかれ、一本いっぽんの箒ほうきを手渡てわたして言いわれました。
 「これから毎日まいにちこの箒ほうきで、『塵ちりを払い、垢あかを除のぞかん』と
 唱となえながら一心いっしんに掃除そうじをしなさい」
 一心いっしん不乱ふらんに掃除そうじを続つづけた周利槃特しゅりはんどくはいつしか「人の世ひとよ
 の迷まよいは塵ちりや垢あかなり。仏ほとけさまの智慧ちゑはこれ心の箒ほうきなり」
 という尊とうとい悟さとりを得えました。この時とき、兄あにの摩訶槃特まかはんどくは未
 だ悟さとりを得えていなかったといひます。



お釈迦さまは大勢のお弟子達を前にして言われました。「悟りを開くということは、決してたくさんのお教えを覚えることではない。教えをたくさん覚えても、正しく理解して実行しなければ何の意味もない。たとえ一偈でも実行を徹底すれば深い悟りに至れるのである。周利槃特はその良き手本である」

周利槃特は法華経・五百弟子受記品において、お釈迦さまから「お前は将来必ず仏に成る」という記別を与えられています。説法の座に連なった弟子の一人「周陀」とあるのが周利槃特のことです。

掃除の力は偉大です。人の心を清浄にし、成仏にまで至らしめるのです。

※還俗……一度出家した僧や尼がもとの世俗の人にかえること。



良い教えの話を聞きましょう。

全国の法音寺各支院・布教所では
毎月の講日の中で

三徳の教えを聞くことができます。

是非講日にご参詣いただき

教えを心にしみ込ませましょう。

◆今月の山首上人さまご親修日程

四日市支院	2月3日(水)	岡山支院	2月6日(土)
東京支院	2月11日(木)	福山支院	2月14日(日)
大阪支院	2月23日(火)		

有縁の支院・布教所に、ご自由にご参詣ください

支院・布教所名	今月の講話日など	住 所	電話番号
大乗山泰明寺	5日・20日	名古屋市中村区名駅2-37-3	☎(052)581-2069
開基堂	10日	江南市寄木町天道18	☎(0587)53-5436
東京支院	7日・11日・27日	東京都練馬区谷原2-6-37	☎(03)3904-1251
山形布教所	13日	山形市長町2-4-6	☎(023)681-0770
静岡支院	2日・12日・22日	磐田市中心4-7-3	☎(0538)32-6625
豊川支院	4日・20日	豊川市中野川町1-26-3	☎(0533)86-4704
安城支院	6日・18日・28日	安城市新田町小山31-25	☎(0566)76-2504
明川支院	11日・26日	豊田市明川町堂ノ脇1-2	☎(0567)32-1825 ご連絡は本山事務局へ
佐屋支院	4日・14日・24日	愛西市大井町浦田面296	☎(0567)32-1825
一宮支院	5日・15日・21日	一宮市大江1-7-4	☎(0586)72-7208
西春支院	2日・12日・22日	北名古屋市九之坪東ノ川20	☎(0568)22-5813
岐阜支院	4日・14日・24日	岐阜市切通7-15-22	☎(058)245-2939
笠松布教所	12日	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	☎(058)388-2740
大垣支院	1日・11日・20日	大垣市宝和町5	☎(0584)78-4854
関支院	3日・14日・23日	関市西福野町2-15-11	☎(0575)22-0776
平賀支院	6日・14日・25日	関市市平賀2-13-2	☎(0575)23-3771
郡上八幡支院	8日・14日・21日	郡上市八幡町小野72-1-3	☎(0575)65-3933
四日市支院	3日・13日・22日	四日市市赤堀2-4-7	☎(059)352-3633
上野支院	1日・3日・11日・21日	伊賀市上野向島町3475	☎(0595)21-0127

京都支院	1日・9日・20日	京都市上京区北横町360	☎(075)231-3437
高槻支院	7日・21日	高槻市天神町1-9-2	☎(072)685-1003
大阪支院	14日・23日	大阪市此花区西九条3-4-41	☎(06)6465-5051
和泉支院	6日・21日	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	☎(072)466-3112
神戸支院	13日・21日	神戸市兵庫区五宮19-17	☎(078)360-4884
淡路支院	5日・25日	南あわじ市神代国衙910	☎(0799)421-0175
岡山支院	6日・8日・23日	岡山市南区若葉町1-16	☎(086)262-0818
高知布教所	11日	高知市上町5-5-39	☎(088)823-1983
福山支院	1日・14日	福山市西町3-19-5	☎(084)921-3078
三原支院	13日・28日	三原市皆実2-9-22	☎(0848)621-5087
安芸津支院	6日・21日	東広島市安芸津町三津3765-3	☎(0846)451-4012
坂支院	14日	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	☎(082)885-1064
福岡支院	7日・15日・21日	福岡市早良区城西2-11-37	☎(092)821-7975
壱岐布教所	13日・23日	壱岐市石田町池田東触1112	☎(0920)441-5445
筑後布教所	14日・28日	筑後市大字西牟田5954-1	☎(0942)531-7273
天草布教所	1日	上天草市大矢野町維和1502-1	☎(0964)581-0742
田川支院	14日・28日	田川市春日町7-30	☎(0947)421-1819
名古屋地区	7日・17日・27日	名古屋市昭和区駒方町3-3	☎(052)831-7135
瀬戸布教所	9日・19日・28日	瀬戸市東本町2-20	☎(0561)851-6860
亀岡布教所	14日・28日	亀岡市篠町篠牧田73-1	☎(0771)251-7807

※スケジュールは変更されることがあります。詳しくは各支院・布教所にお問い合わせください。(掲載順不同)

二〇二二年一月

『新年祝祷会 ご報告』

感染症対策にご協力いただきながら
新年祝祷会が行われました。



ソーシャルディスタンスを
保ちながら、久しぶりの再会。





ぶっ ぎょう せつ わ
仏教説話

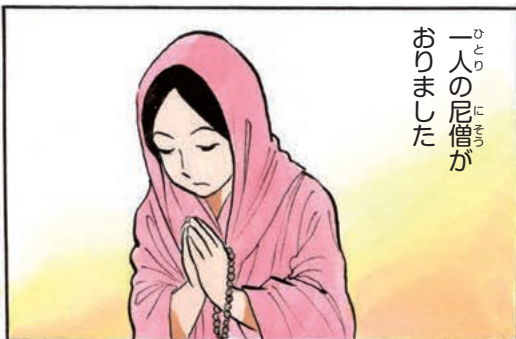
しん じつ み き わ
真実を見極める



釈尊が祇園精舎で
説法をしている頃…

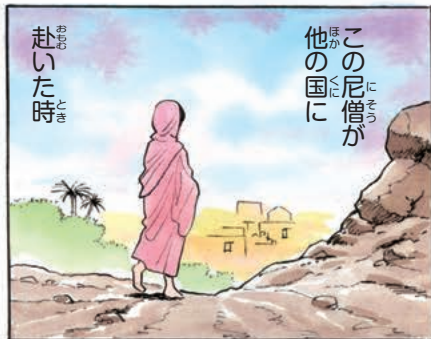


一人の尼僧が
おりました



この尼僧が
他の国に

赴いた時

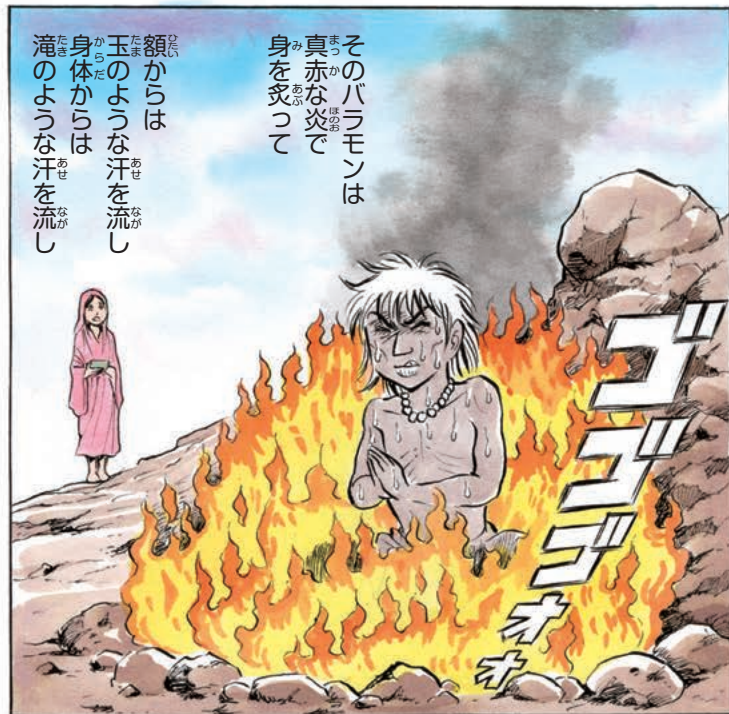


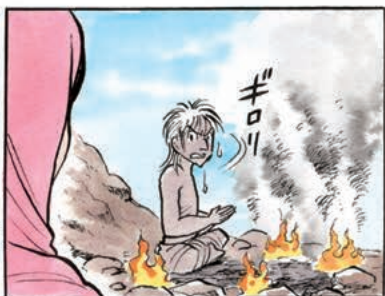
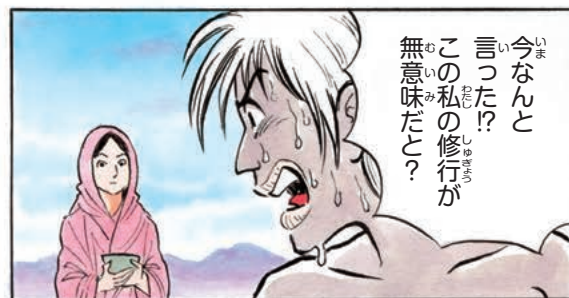
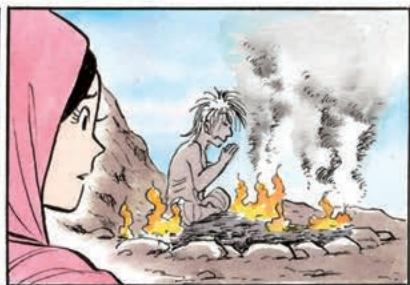
その国に一人の
バラモンがおり

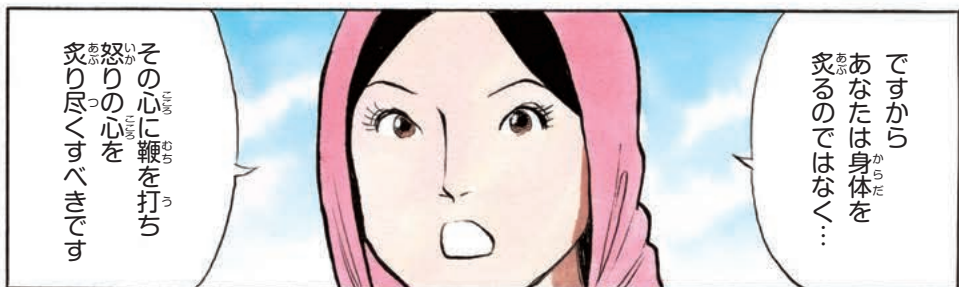
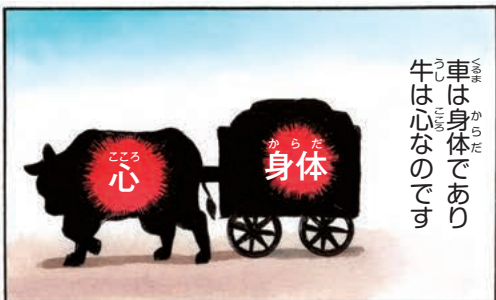
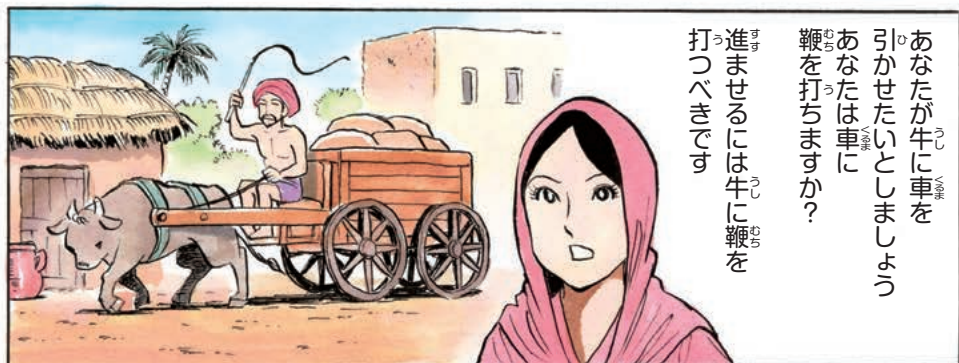
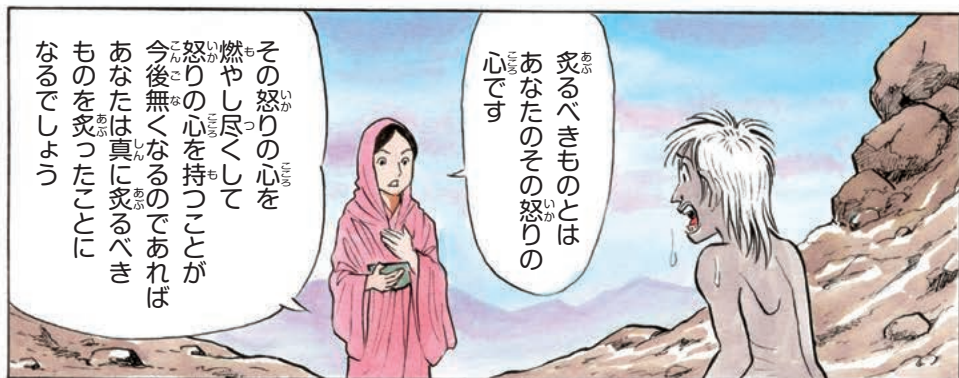


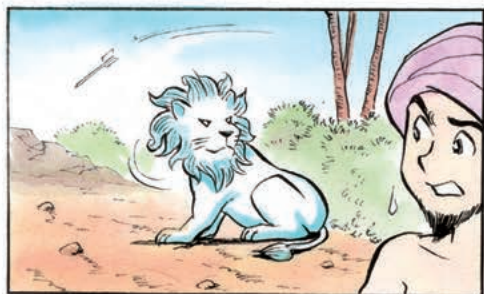
そのバラモンは
真赤な炎で
身を炙って

額からは
玉のような汗を流し
身体からは
滝のような汗を流し









例えるなら
獅子に矢を
放ったとしましょう



でも愚かな犬は
どうでしょう



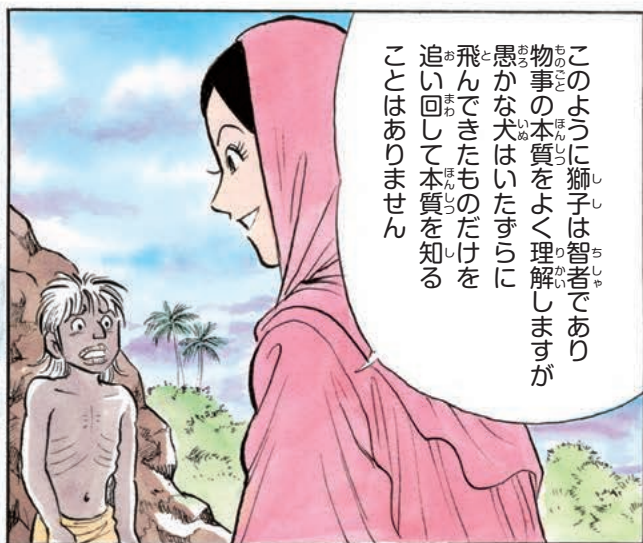
獅子はその矢を
放った人に気づき
追っでしよう



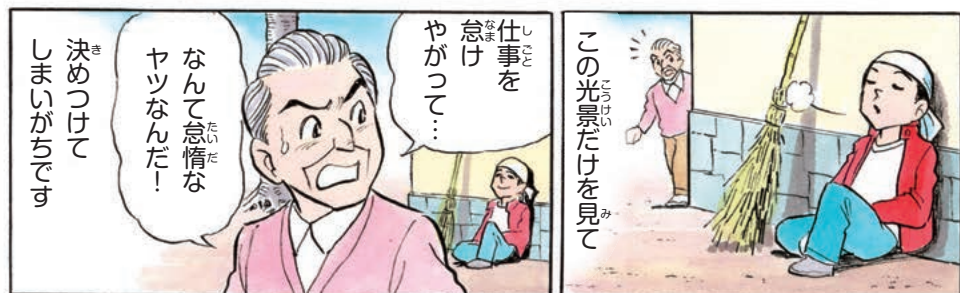
飛んできた
矢を追いかけて
いきます

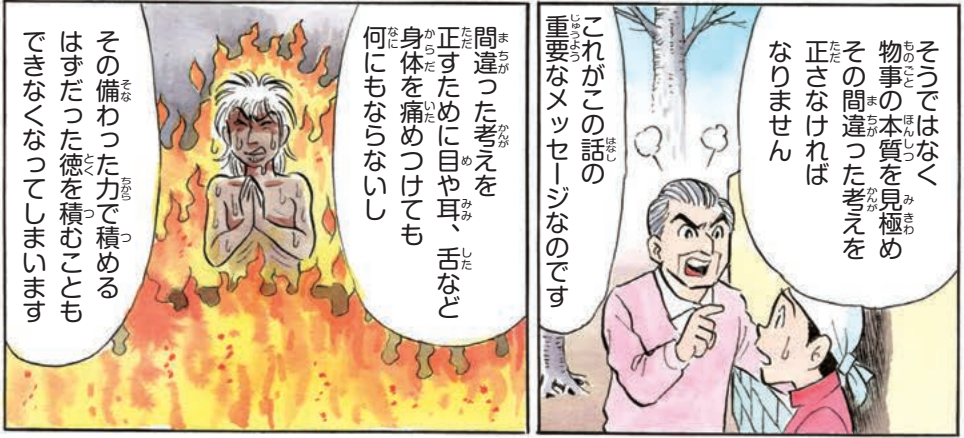


こうして
真実の教えを
理解したバラモンは
いたすらに身体を
焼くことを止め
仏の教えに
帰依したのです



このように獅子は智者であり
物事の本質をよく理解しますが
愚かな犬はいたすらに
飛んできたものだけを
追い回して本質を知る
ことはありません





私達^{わしたち}は心^{こころ}を持^もち
それ^{それ}を正^{ただ}しく使^{もち}うことが
でき^{でき}ます

本^{ほん}能^{のう}のま^まに生^{せい}活^{かつ}をす^する人^{ひと}は
人^{にん}間^{げん}とい^いう名^な前^{まえ}の生^{せい}き^き物^{ぶつ}にす^すぎま^ませ^せん
心^{こころ}を正^{ただ}しく使^{もち}える人^{ひと}とな^なりま^まし^しよ^う



【はじめての仏教シリーズ #2】 お焼香の意味と作法

仏教・お寺に関する、意外と知らない意味や歴史等の知識を、
わかりやすく解説していきます。



解説・動画製作：鈴木廣修上人

第二弾は「お焼香」について。皆さまも普段行っているお焼香について、改めて意識してみましょう。



お香の香りは
煙から出ている
のではない?!



気になる作法…。
しかしお焼香で
大切なことは
「心」です。



皆さま ぜひご覧ください。

YouTube はじめての仏教動画はこちら →

<https://youtu.be/M0DemLgu2gk>



知っているようで知らなかった!?

法音寺のこと ⑭

戦災孤児

昭和20年8月15日、太平洋戦争は終結しました。戦争が終わったといっても平和が戻ってきたわけではありません。街には空襲によって迷子になってしまった子、両親と生き別れ、死に別れた孤児達があふれていました。

大人でさえ食べ物を手に入れられなかったこの時期、子どもが食べ物にありつく手段は、物乞いか、スリか、かっぱらいしかありませんでした。他人の懐や荷物を狙い、店頭から物を取って逃げることを、悪いこととは思ってもしなければ生きてい





けません。駅や公園、地下道をめぐらとして町中を徘徊する浮浪者の二割がこうした子ども達だったのです。そして当局によって保護された子ども達は、駒方寮などの施設に連日送り込まれました。

寮の前にトラックが止まり、荷台から子どもが降ろされます。

一様にボロを身にまとい、垢に汚れた子ども達。

「はい。そこで止まって、待っていて！」

元気の良い声がして、寮舎から保母さんが

筒状の物を持ってきます。

「順番に並んでちょうだい。目をつぶって、耳を押さえていなさいね」

と言いながら、子ども達の頭の上からノミ・シラミ退治のDDTを吹きつけます。それが終わると、孤児になっておそろく初めて入るお風呂です。頭から足の先まできれいに洗われると、あどけない子どもら



しい顔が現れ、周囲の大人達はホツとしました。

その中に、しっかりと妹の手を握って離さない弱々しい男の子がいました。妹もまた、兄にしがみついて離れようとしません。怯えるような目で保母さんを見上げ、「あのー、ぼく達お金を持ってないんですけど…」と言います。それを聞いて保母さんは言葉を飲みました。

二人の目を順に見やりながら、

「ずいぶん苦勞したのね。いいのよ。お金は要らないの。怖がらなくていいからね」と手を引いて風呂に入れ、着替えをさせ、食事を兄妹の前に置くと、二人はようやく笑顔を見せるのでした。

誰に守られることなく、大人の間でもみくちやにされ



たことで、心の奥まで傷つき、すさみ、疑心暗鬼に陥っている子も多くいました。そんな子ども達を前にして修一郎（後の御開山上人）は静かに語りかけました。

「今日から、寮長の私がみんなのお父さんです。そしてみんなのお世話をしてくださる保母さんが、お母さんです。同じ部屋で暮らす子は、兄弟・姉妹です。困ったこと、うれしいこと、悲しいことがあれば、家の人に話すでしょう。これからは、何でもお父さん、お母さんに話してくださいね」

小さな、いくつもの頭が、こつくりとつながりました。

来る日も来る日も連れてこられる孤児達。親類・縁者が尋ね当てられると引き取られていくものの、引き取り手のない子はそのまま施設に残りました。この時期、約130名の孤児達が駒方寮で生活しました。

参考文献



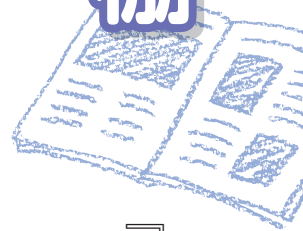
御開山上人伝
『泰山』第三話





お寺の本棚

『御開山上人御遺稿集』



お題目の唱え方

杉山先生は、

「たゆみなくお題目を唱えなさい。災難を逃れることもできます。自分の働きが都合よくなり、幸福を招く基となりますので、行住坐臥と言って、仕事をしている時でも、道を歩く時でも、寝ている時でも唱えましょう」とお教えくださいました。

よい考えをする時、よい考えの浮かぶようにする時は、お題目を唱えると大変よろしいと思います。お題目を唱えていますと、邪念が消えてよい心持ちとなります。身体の痛い時、苦しい時唱えますと、きっと身体が楽になります。

悲しい時、苦しい時には理屈なしに唱えましょう。また、人にも唱えてあげましょう。法座





の時でも、お題目会の時でも、心の苦しい人、痛いところのある人にはお題目を唱えてあげましょう。

日蓮聖人が土籠の日朗さまに送られました土籠御書には、

「法華經を余人の読み候は、口ばかり言ばかりは読めども心は読まず。心は読めども身に読まず。色心二法共にあそばされたるこそ貴く候え」とあります。

「南無妙法蓮華經と口に唱えることは大切なことであるが、続いて他人には、仏の行いをするように教え導く実行をしてゆくことが肝要である」と教えられてあるのです。

人を仏に導くその基は、口にお題目を唱えることである、というように理解して、お題目を唱えることが大切であります。

「色心二法」とは、身と心に行なうことであります。

この本をもっと詳しく読んでみたい方は、法音寺本山、または各支院・布教所までお問い合わせください。

のりのね体験

導きの言葉

安城支院 長坂 博之

私は現在、年金を受給しながら、平日は半日勤務の仕事に就き、元気に働いています。

以前、仕事のことで島田上人より教化していただいたことがありました。それは私が若い頃に、希望した仕事先に転職できた後のことでしたが、お上人は次のようにお話しくださいました。

「今までお誓いもして徳積みをしてきたお陰で、希望の転職が叶ったのは大変ありがたいことで、喜んで良いと思います。ただ、その今の喜びをこの後も継続させていくためには、今まで以上に徳積みを中心掛けていくことが大切です。一つ大きな願いが叶ったからといって、それで終わりではありません。五年、十年経って振り返った時に、今の状況がやっぱりありがたかった！」と考えるように、これからも続けて頑張ることが大切です」

当時の私は仕事に自信が持てず、またその後の生活にも迷っていました。その後、最初の仕事は離職・転職することになりましたが、同じ頃、ご縁があつて安城支院へ足を運ぶようになりました。

お寺では、先輩の徳積みや奉仕をする姿を見て、私も講日だけでなく支院での大きな行事、青年会・子ども会の手伝いをさせていただくようになりました。仕事や将来の生活のことで悩んでいましたが、

ほかの信者さんもさまざまな思いを抱えながら実行されるお姿を見て、私も「お誓い」や「徳積み」を教えていただきました。

転職した時のことを振り返りますと、仕事の悩みや自分の希望する仕事について支院の信教師の方に相談にのっていただきました。その方は穏やかに私の話を聞いてくださった後、すぐに動かれ、心当たりの仕事を先をご紹介くださいました。教えてもらった通りに、相手の先祖供養や自分の罪障消滅をし、お誓いを実行するように頑張りました。そして何より周りの皆さんの協力により、無事に希望する仕事先に転職することになりました。

その時に初めて毎日の生活の中で徳積みを実行することができました。目的を達成した喜びもあり、目の前が明るくなった気がしました。高齢者になった現在も年齢相応の仕事をしていますが、若い時に島田上人よりいただいたご教化を忘れることなく、何年か後で振り返った時に「ありがたかった」と思えるように今後も精進していきたいと思っています。

日達上人は次のようにご教化くださっています。

「誰でも将来に対する不安はあると思います。この先いったいどうなるのだろう。景気は、年金は、老後は」と、いろいろ心配もあると思いますが、先のことを悩むより、今日一日正しい暮らしをして徳を積んでゆこう、という気持ちが大切です。徳さえ積んでゆけば、この世のことはそんなに心配する必要はありません」《『大白牛車 8 一日一言』2月18日より》



新主管就任のご挨拶

令和三年より、京都支院・高槻支院・安芸津支院にて新たに主管に就任された三名の方からお言葉をいただきました。



京都支院 安藤順法上人

山首上人さまより京都支院の主管の任を仰せつかり、非常に大きな責任を感じております。

平成6年、結婚を機に御法のご縁をいただき、平成15年に出家得度、本年で27年となりました。今日の私があるのも、山首上人さまはもとより、法縁各聖の御指導と檀信徒の皆さま方のお力添えのおかげだと感謝いたしております。

今後は三先師・日達上人の御恩に報いるべく、一人でも多くの方に法音寺三徳のみ教えを弘めていきたいと存じます。仏教寺院の多い京都の地で、法音寺三徳の神髄を弘めていくことは多難な道のりと存じますが、私に課せられた使命だと喜びに感じて精進してまいります。皆さま方、御指導御鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



安芸津支院 大本信行上人

安芸門徒として生まれ育った私が、不思議な御縁で日蓮宗法音寺の僧侶となり12年が経ちます。

この度、安芸津支院主管という大任を仰せつかり、責任の大きさを感じておりますが、三徳広宣流布に誠心誠意努める所存です。

当地の礎、榮淳院日覚上人（湯本行順上人）、教順院妙芳法尼（湯本妙芳法尼）の教えを絶やすことなく、檀信徒の皆さまとともに助け合いながら精進してまいります。

どうぞ、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。



高槻支院 岩田孝学上人

この度、山首上人さまより高槻支院主管を拝命いたしました。

始祖の金言

「自己の天賦たることを忘れず、善行に精進し、機に触れ時に応じてよく悪人をも感化し、善人に導くよう努力しましょう」

この心掛けをもって、自分に与った役割を果たすべく邁進いたします。

初代中島上人ご夫妻、そして関哉法尼と高槻の地に三徳を伝え続けられた先師、教えを守ってこられた檀信徒の方々の「志」を次につなげられるように精進してまいります。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

福祉の ひろば



幸せのお手伝い

自分自身の成長も

実感できた

知的障がいと

発達の障がいを併せ持つ

女性利用者さんとの出会い

私は小原寮に入職して11年目となり、さまざまな障がい特性のある利用者さんを支援してきました。その中で忘れられないのは、当時23歳の「知的障がいと発達の障がいを併せ持つ女性利用者Aさん」との出会いです。彼女は元々、身の周りのことができる自立度も思考能力も高い方でした。私が担当になり、上司や先輩職員に相談しながら

さまざまな支援に取り組みました。特に余暇外出支援の際は、Aさんの強みを活かそうと、毎回、電車を利用して、繰り返し同じコースを巡り、記憶に定着するように支援を重ねました。

ある時、いつもAさんの隣で乗車していた私は彼女の同意のもと、別車両に乗り、Aさんの視界から見えないようにして見守り、いつも下車する駅で、自力判断で下車できるのか様子をつかがいしました。Aさんは迷うことなく降りることができました。駅ホームで待っていた私のところまで落ち着いて駆け寄って来てくれました。それは今まで私が

彼女の強みを活かそうと、さまざまな知恵を絞って支援してきたことが、目に見える形で良い結果に結びついた瞬間でした。また、自分自身の成長を実感でき、とても感動したことを記憶しております。

また、利用者さんのご家族との出会いに関しては、皆さんとても良くしてくださり、ごなたかを特定してあげることができません。こちらの不手際でご迷惑をおかけした際には、「望月さんは〇〇に良くしてくれているから、気にしないで」とお声を掛けていただき、そのお言葉にとっても救われました。また、自分なりに誠実に支援させていただいた時は、「望月さんが担当で良かった」と、うれしいお言葉もかけていただきました。そのお言葉がいつも私を、もっと利用者さんのために

頑張ろう！と奮い立たせてくれました。さまざまなご家族との出会いが、自分の成長につながっているのだと、常に感謝しております。

障がい者支援施設 小原寮 グループリーダー（生活支援員

望月 真一



技能実習生の受入れ開始



写真提供・昭徳会

特別養護老人ホーム 安立荘・小原安立
～インドネシア人技能実習生受入れを通して私達が学ぶべきこと～

令和2年12月から、特別養護老人ホーム安立荘（みよし市）と、特別養護老人ホーム小原安立（豊田市）は、それぞれインドネシア人技能実習生2名の受入れを開始しました。

当初の予定では、8月に来日の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来日が延期し、今後のスケジュールの見通しが全くつかない状況となりました。

両施設とも居住環境の整備など受入れ準備を進めてはいましたが、年内の来日はむずかしいのではないかと話もあり、不安を感じていました。菅内閣総理大臣の初めての外遊で、インドネシアを含む東南アジアへ訪問したことが後押しとなり、12月にやっと来日することができました。

実習生達は日本語の自主学習を続け、入国前後にPCR検査を受け、入国後には二週間、個室で待機するなど、数多くの手続きを経て、晴れて実習に臨むことになりました。監理団体の研修センターで初めて面会した際には緊張や疲労が感じられましたが、問いかけには常に笑顔で、そして礼儀正しく受け答えをしてくれました。その姿にとっても安堵しました。



技能実習の目的は介護の技術を学び、母国インドネシアの介護発展に役立ててもらうことです。しかし、介護とは単純な技術習得だけではなく、一人ひとりの暮らしを支援することがとても大切になります。そのためには、日本の暮らし、そして文化を学んでもらうことが重要です。

各施設での実習開始から一週間後の12月28日に、鈴木正修理事長へご挨拶をさせていただく機会をいただきました。その際、理事長のご厚意により「餅つき」体験や、本堂の見学のお時間を頂戴し日本の文化にふれることができました。

「餅つき」では、法音寺の方々に杵の扱いや、手返しの手ほどきをいただき、本堂の見学の際には、毛利上人よりも丁寧の説明をしていただきました。皆さま方の親切なご対応のお陰でもあります。

の場面でも実習生達の聞く姿勢は真剣であり、必ず笑顔でお礼をする礼節をもった態度であるため、ご対応いただいた方々、そして周囲にいる私達も幸福な気持ちを感じる時間となりました。

この場面に象徴されるように、実習生達は常に真面目に取り組み、そして感謝の気持ち忘れません。そのすばらしい姿勢は、人と接することを生業としてきた私達が、今一度自らの仕事を振り返らなければならぬと教えられているように感じています。

実習生の学びが実り多いものになった暁には、きっと私達にとっても多くの学びやサービスの質の向上につながるものと考えています。

特別養護老人ホーム小原安立 所長 神谷 貴志



社会人の要望に応えるリカレント教育

日本福祉大学



写真提供・日本福祉大学

最近、教育現場でよく取り上げられる言葉に「リカレント教育」という言葉があります。

リカレント教育とは、職業人を中心とした社会人が高度で専門的な知識や技術を習得するために、必要に応じて受けられる再教育制度のことで、生涯にわたって教育を継続的に循環させようとするものです。リカレント(recurrent)とは、「反復、循環、回帰」を意味し、学校を卒業して仕事に就いてからも、必要と感じた時に学び直すため「社会人の学び直し」とも呼ばれています。時代の変化が激しく、また、人生百年時代と言われる就労期間が長期化する中で、ますますその必要性が注目されているところです。本学では昨年リカレント教育事業部を設置し、福祉経営学部（通信教育）、大学院、中央福祉専門学校、社会福祉総合研修センターの社会人教育に関わる機関を横断的に束ね、学園あげてリカレント教育事業を展開するための体制を整備しました。

本学の歴史を振り返ってみますと、始まりである中部社会事業短期大学は開設翌年の1954年には夜間部を設置しており、60年以上にわたって社会人の教育に取り組んできた歴史と伝統があると言えます。また我が国

で初めて教育にインターネットを本格的に活用し、全国大学通信教育のトップブランドを確立した福祉経営学部（通信教育）では、毎年7千名近い社会人が学んでおり、その教育そのものがリカレント教育です。

さて、福祉、介護、医療、教育をはじめとして社会で働く方々は、ますます複雑化・複合化する課題に直面し、自らの専門性をさらに高め、課題解決に向かっていくというとする意欲をお持ちです。その要望に応じていくために、本学ではさまざまなプログラム開発に取り組んでいます。その一つとして「履修証明プログラム」があります。

履修証明プログラムは、社会人を対象とした新しい履修・学習の証明制度です。大学などが特定の分野を体系的に学べる学習プログラム（履修証明プログラム）を開設し、修了者には履修証明書が交付され、履歴書に記載することが出来ます。短期間で専門的かつ体系的に学べるこの制度について、文部科学省も推奨しており、各大学とも特徴を生かしてプログラムを編成しています。

本学でも2021年度、大学院では「医療・福祉マネジメント人材養成プログラム」を、福祉経営学部では精神・発達障害者の就労支援や認知症の方への支援、依存

症や災害ソーシャルワークへの理解を深める4つのプログラムを開講します。

また、社会福祉総合研修センターで開講している「性暴力被害者支援看護職（SANE）養成プログラム」が、昨年文部科学大臣が認定する「職業実践力育成プログラム（BP）」に採択されました。BPは対象とする職業等を明確にし、関連分野の外部機関の意見等を取り入れた質の高いプログラムについて認定する制度で、認定を受けたことは、本学にとって大きな励みとなりました。

さらには新たな履修証明プログラム「学校福祉」の開講に向けて、準備が進められています。貧困・虐待・不登校など、さまざまな生きづらさを抱えた子ども達を支援するために、教育・福祉・心理にかかわる実践的な知見や技術を体系的に学ぶことができるプログラムです。

コロナ禍において、困難を抱える人はますます増えており、困難に対して立ち向かっていくための新たな教育プログラムが求められています。本学の提供するプログラムのさらなる充実に向けて、一層取り組みを進めてまいります。

リカレント教育事業部長 井上 京子

幸せの種まき 慈悲

法華経をたもち続けましょう

良い教えの話を聞きましょう

良い本を読みましょう

良いと思ったことは実行して
家族や友達に話しましょう
必ずよろこびの日が来ます

大乗山 法音寺



編集後記

2月といえば受験シーズン。受験生の皆さんは新型コロナウイルス感染症でさまざまな心配を抱えているでしょうが、お題目を唱えながら何とか乗り越えてほしいと祈っています。

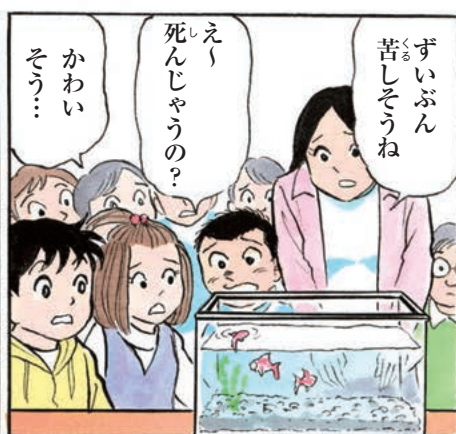
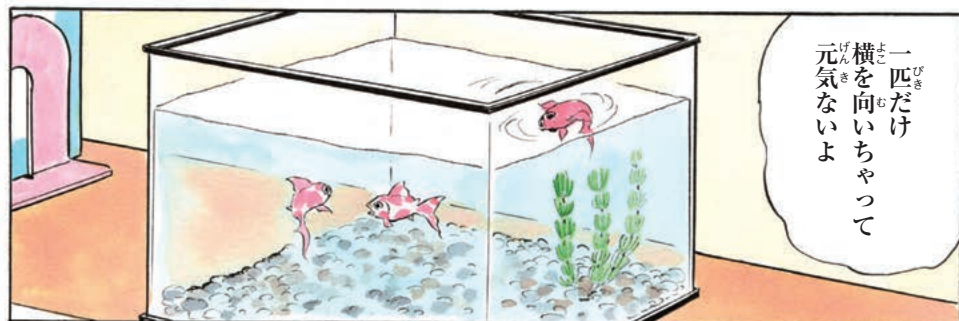
さて今年には新年祝祷会への参詣を残念な気持ちで見送られた方も多くおられました。今月号では少しでも本山の空気にふれていただこうと、グラビアで紹介することになりました。また、今年から新たに支院主管者として就任されたお上人を紹介させていただきます。

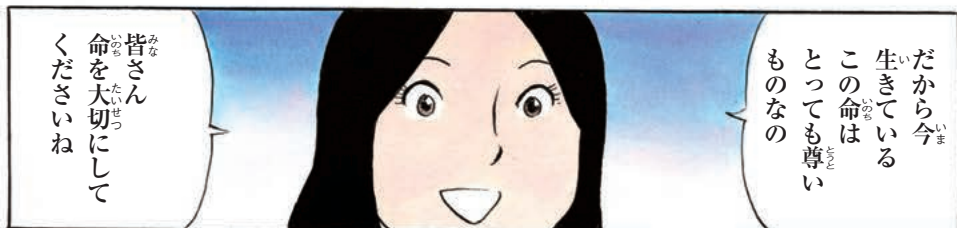
世の中は暗いニュースばかりで落ち着きませんが、自宅で過ごす時間が多くなる分、法音寺から刊行された本を心静かに読んでみませんか。こういう時こそ御法に従い、お題目を唱え、三徳を実行しようではありませんか。

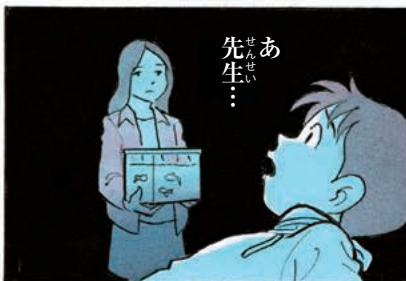
「身の回りに起こる不都合は仏さまからの宿題」とお寺では教わります。私達は、どんな状況でも御法を持ち続けることができるかを試されているのかもしれない。山首上人さまがお教えくださいますように、朝の来ない夜はないと信じて日々精進してまいりましょう。

あふれる感謝

竹中 淳



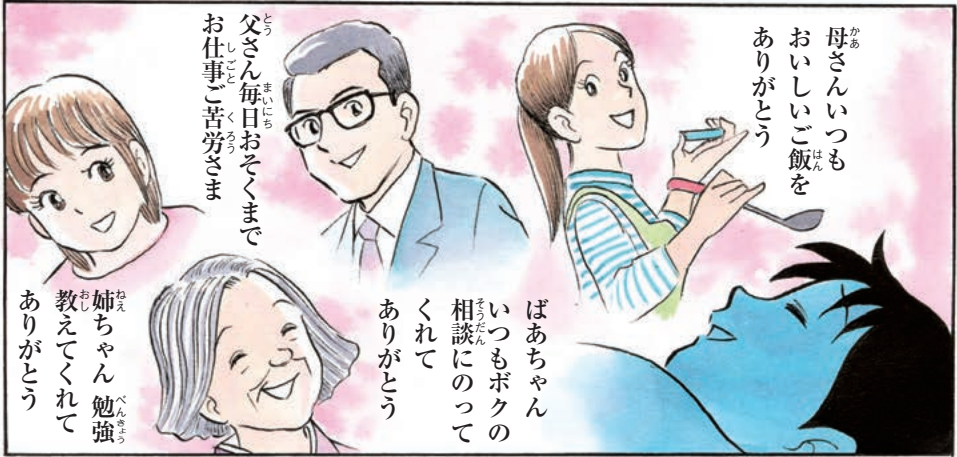














！



うわあーい
生きてる
やったあ

おなかも
いた 痛くないゾ！

やったあ



また友達
みんなに
会える！
やった！

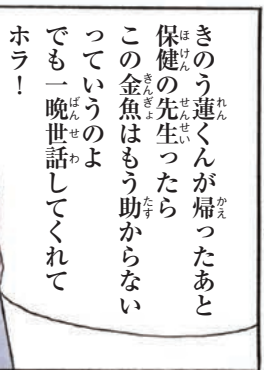


蓮くん元気に
なったようね

先生…



ねえ見て！
金魚元気に
なったわよ



きのう蓮くんが帰ったあと
保健の先生ったら
この金魚はもう助からない
っていうのよ
でも一晩世話してくれて
ホラ！



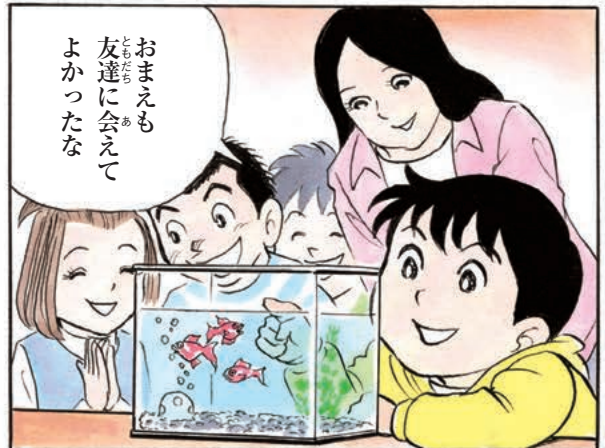
えーっ

金魚？



きょう 命かもしね

なんだ
あの時話してたのは
金魚のことだったのか



おまえも
友達に会えて
よかったな

おしまい

法音寺物語

社会福祉という言葉がなかった時代…
人々を本当の幸せにする仏教の精神で
社会的弱者を救済する人達がありました。



貧困にあえぐ人達に食料や医療を施し、
差別を受けたハンセン病を患った人々に
寄り添い、様々な事情で親をなくした
子ども達を養育し、障がいを持つ人々に
生きる希望を与えてきました。



お寺になったのは戦後(昭和22年)のこと。
初代住職・鈴木修学上人は、福祉施設を
運営する中で、本当に人々を救済するには
“専門的知識を身につけた人材が必要”と考え、
日本初となる社会福祉教育専門の4年制大学・
日本福祉大学を開設しました。



その後、“仏さまの教えを実行し、困っている人達を
救済しよう”という理念に共鳴する人達が各地に
増え、全国に40の支院・布教所が設置されました。
多くの心ある人達の善意に支えられて、現在では、
高齢・障がい・児童の19福祉施設が運営され、
大学では多くの学生が社会福祉を学んでいます。





勇猛精進

相手を満足させればすぐ喜びがくる
相手をいたわれれば喜び合う日が必ずくる

写真・法音寺大本堂
《山首上人の大修行御成満奉告法要の砌》

日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市昭和区駒方町3-3 TEL.052-831-7135
<https://www.houonji.com> FAX.052-831-9801



講話日

毎月7日・17日・27日
午後1時30分

ホームページにて月刊法音を掲載しています



SNSでつながる法音寺



法音寺公式
facebookで
毎朝7時
『一日一言』
配信中!!

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



毎週火曜日
法音寺メールマガジン
配信中!!

山首上人のみ教えや毎月の予定、
人にやさしく生きていくための
コツなどを配信します。

こちらのQRコードから
メールマガジン登録フォームを
ご覧いただけます。



YouTubeにて
法音寺チャンネル
開設中!!

<https://www.youtube.com/user/houonjmovie>

こちらのQRコードから
法音寺紹介動画を
ご覧いただけます。



詳しくはホームページ、またはYouTubeサイトで

法音寺

検索



法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

社会福祉法人 昭 徳 会

- 児童養護施設
- 障がい児入所施設
- 障がい者支援施設
- 特別養護老人ホーム
- 障がい福祉サービス事業
- 養護老人ホーム
- 軽費老人ホーム
- 養育所
- 軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)
- 自立援助ホーム

法人本部

〒466-0832 愛知県名古屋市中区駒方町4-10
TEL (052) 831-5171
<http://www.syoutokukai.or.jp>



我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学付属高等学校

法人本部

〒470-3295
愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6
TEL (0569) 87-2211
<https://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・令和3年2月号・No.616・令和3年2月1日発行

発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会

非売品／印刷・(株)一誠社